



「クリーニングドクターの豆知識」その14

誰も教えてくれない柔軟剤の事②

前回のまとめ

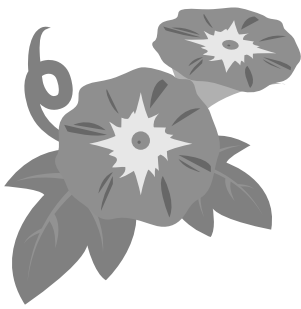
- ①柔軟剤は油脂が主成分である
- ②油脂は酸化し、皮膚に悪い影響を与える
- ③油脂は水分をはじき、繊維の吸水性を損なう

当店では、以前3種類使っていた柔軟剤を2種類に減らし、一部の水洗いでは柔軟の使用そのものを止めました。今回はその理由をお話ししましょう。

【酸化しない柔軟剤はあるのか？】

「最も酸化しにくい食用油」をご存知ですか？赤ちゃんの肌にも安全に使えるように、本向きの製品で、一般には市販されていません。さすがに当店でも、こんな高価な柔軟剤は使えません。商品は、すでに生産中止で、もう手に入りません。

①酸化しない柔軟剤は存在しない ②酸化



【静電気が防げない柔軟剤の役割は？】
目があります。つまり静電気のほとんど実感できません。するとバチバチと試みに柔軟剤を使っている皆さんはどうで

結局、酸化は防げない・静電気も防げない・柔軟剤は使わない」という結論に達しました。

【柔軟剤なしで衣類をふっくら仕上げる方法】

この方法は乾燥機を必要としますが、とて洗って脱水まで終わった衣類を、5分程度乾燥が目的ではないので、5分～10分程これは脱水の際に遠心力で押し付けられ、特にタオル・ジーンズ・トレーナーなどの厚度5分程度乾燥機で回転させると理想的からです。当店ではこの方法を使っています。次回は乾燥機がなくてもできる方法を紹

※この豆知識は(柔軟剤編)は
会員限定の情報です。

- 会員の方は「MENU」→「会員の皆様へ」からご覧ください。
- 会員以外の方で豆知識の内容を読みたい方は、下のいずれかをお選びください。

- ①会員になる
- ②店頭で豆知識だけ購入する (一部100円)



古川クリーニング

宮崎市瀬頭2-2-14
お問い合わせは

0985
22-7308